

製品名: APC2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82033**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	244kDa

抗原情報

遺伝子名	APC2
別名	APCL
遺伝子 ID	10297.0
SwissProt ID	O95996
免疫原	大腸菌で発現したヒト APC2 (AA: 2041-2181) の精製された組み換え断片。

背景

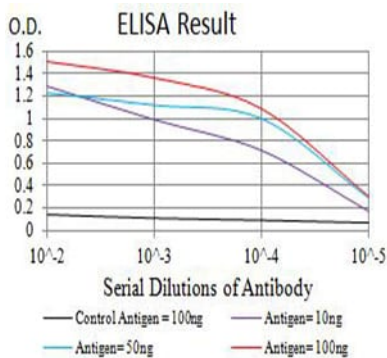
この遺伝子は、N末端コイルドコイルドメイン、それに続くアルマジロドメイン、5つの20アミノ酸反復配列、および2つのSAMPドメインを有する、高度に保存されたタンパク質をコードしています。このタンパク質は、Wntエフェクターβ-カテニンをリクルー

トしてリン酸化させ、 β -カテニンをユビキチン化およびプロテアソーム分解の標的とする多タンパク質複合体の組み立てを促進します。したがって、このタンパク質は細胞質中の β -カテニン濃度を低下させる役割を果たし、ひいては様々なヒト癌の発症に重要な役割を果たす Wnt 標的遺伝子の活性化を抑制します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、大腸腺腫性ポリポージス (APC) 腫瘍抑制タンパク質と密接に関連しており、同様の腫瘍抑制効果を有します。この遺伝子はまた、細胞骨格タンパク質との相互作用を介して、アクチンの組み立て、細胞間接着、および微小管ネットワークの形成にも役割を果たします。この遺伝子は中枢神経系で最も高い発現を示し、ニューロンの細胞骨格制御を介して脳の発達に関与しています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。

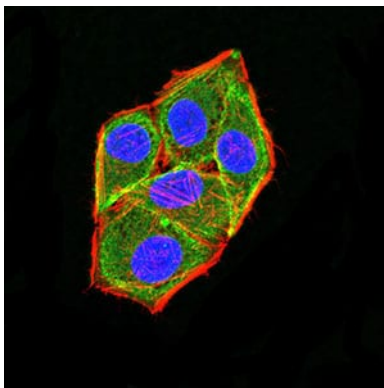
研究分野

Wnt シグナル伝達経路

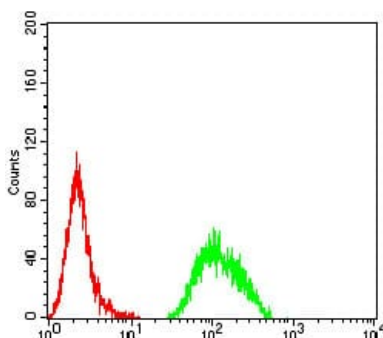
画像データ



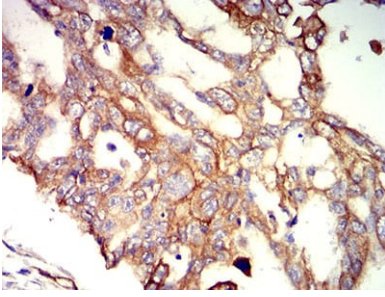
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



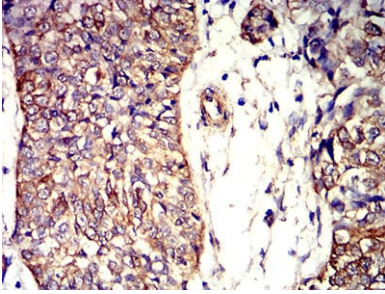
APC2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



APC2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による APC2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による APC2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。